

手づくり教室

経験豊富な職人の手ほどきを受けてものづくりができる10種目の教室は、最大300名程度の団体まで受け入れができます。あなたも職人の技を身近に感じられる「手づくり教室」に参加してみませんか。

※ 新型コロナウイルスの影響等により種目によりましては体験不可となる場合がございます。ご理解・ご了承の程よろしくお願いいたします。

手づくり教室料金表 令和2年4月1日改定

教室名	コース名	時間	1回の人数	料金(税込)
陶器	A1 350g(例:湯呑・小鉢等)	60分	90人	1,600円
	A2 700g(例:抹茶茶碗・ピアカップ等)	60分	90人	2,500円
陶器絵付	B1 湯呑コース	60分	90人	1,600円
	B2 皿コース	60分	90人	1,600円
	B3 マグカップコース	60分	90人	2,000円
	B4 飯碗コース	60分	90人	2,000円
天然藍染	C1 ハンカチ(44×44cm)	60分	30人	1,650円
	C2 バンダナ(53×53cm)	60分	30人	2,100円
	C3 手拭	60分	20人	3,000円
	C4 ストール	60分	20人	4,600円
竹細工	D1 小物入(小)(例:箸立て等)	60分	100人	1,600円
	D2 小物入(大)(例:メガネ入れ等)(中学生以上)	60分	70人	2,500円
わら細工	E1 忍び駒(わらの馬・縁結び)(<u>10名以下</u>)	60分	10人	1,800円
ドライフラワー	F1 ドライフラワーリース	30分	50人	1,600円
はたおり	J1 ホームспан(小)(17×17cm)	30分	10人	1,600円
	J2 ホームспан(大)(17×27cm)	60分	10人	2,500円
	J3 裂き織り(小)(17×18cm)	30分	10人	1,600円
	J4 裂き織り(大)(17×28.5cm)	60分	10人	2,500円



[公財]盛岡地域地場産業振興センター

〒020-0055
岩手県盛岡市繁字尾入野64-102
TEL.019-689-2201
FAX.019-689-2212

tezukurimura.com/

※C1~C4合せて1回の人数は最大20人でお願いします。(20人以上の場合は要相談)※体験人数が20名以上になる団体様や修学旅行の団体様は、1ヶ月以上前までにセンター事務室にお申し込みください。20名未満の個人のお客様は、直接工房にお申し込み下さい。※陶器及び陶器絵付教室は、焼き上がりまで1~2ヶ月かかり、別途送料がかかります。※郷土玩具、こけし絵付、冷麺づくり体験は体験休止・終了となりました。

工房紹介

陶器



卓上ロクロに粘土をのせて成型する「手びねり」は、どんな形でも自由につくれ、模様や装飾を施すこともできます。お皿や湯呑、飯碗などの食器を作るコースが人気。世界に一つだけの器が作れます。電子レンジや食洗機も使える本格的な陶器で、末永く使っていただけます。

北杜窯

陶器絵付



当工房制作の素焼きした器(皿、湯呑み、マグカップ、飯碗)に絵柄を描く絵付け体験。お子様や初心者でも安心して体験することができます。所要時間は30~90分程度と比較的短めで、時間のない人や、旅先で急に陶芸を体験したいと思った人でも気軽に楽しめます。

北杜窯

天然藍染



全国でも希少な木灰水発酵建て(自然に発酵させた染料)による藍染体験。完成までの工程はとても多く、実際の職人とほぼ同じようなことが体験できます。輪ゴムや割箸などで模様をつけ、自分で染めてもらいます。ものづくりの大変さや出来上がった時の喜び・感動を楽しんで下さい。

染屋たきうら

竹細工



岩手県北部に自生する鈴竹を材料にして編み上げる、手ごたえのある教室です。材料の鈴竹は高さ2メートル、直径1cmほどの竹で、しなやかで弾力があり、編んだかごは力をかけても折れないのが特徴です。長い間使用することができ、使っているうちに飴色になり光沢がでできます。

しばた工芸

忍び駒



昔から、人目を忍んでわらの馬を神前に供え、「縁結び」や「子孫繁栄」等の願をかけ、願いが叶えられると持ち帰り、赤、黒、黄の布や鈴などで飾り再びお礼参りをした。縁起の良い郷土玩具で、切手の図案になりました。今では若い男女の恋心もお互いに通じあえると大変人気を呼んでいます。

雫石民芸社

ドライフラワーリース



1985年にカナダと盛岡が姉妹都市を結んだ際にカナダでリース作りを学びました。松の実実は地元岩手で採れたもので、花も自家栽培し自然乾燥させて、ドライフラワーに仕上げました。ナチュラルな美しさと完成への喜びは心をなごませてくれます。

雫石民芸社

はたおり[ホームスパン]

みちのくあかね会



家庭で紡がれた、手織りの毛織物のことで、明治時代に英国の宣教師によって伝えられました。手紡ぎ、手織りで丁寧な作られたホームスパンは、ちくちくしない柔らかさで暖かく、抜群の耐久性を持っています。タテ糸とヨコ糸の自由な色の組合せでオリジナルな色合いを作ることができます。

はたおり[裂き織り]

みちのくあかね会



北東北は冷涼な気候で綿花が育ちにくく、綿布を大切に利用してきました。そんな生活文化から生まれた「裂き織り」は古布を裂いて横糸にした織物です。手で織り地の風合いを味わい、目で糸と布の色合いが楽しめます。